

2016年2月期 第2四半期 (2015年3月1日～2015年8月31日)

決算説明資料



©2015 「orange」製作委員会

2015年10月13日



東宝株式会社

阪急阪神東宝グループ

2016年2月期 第2四半期（累計） 営業概況

	2015年2月期 (2014年3月～2014年8月)	2016年2月期 (2015年3月～2015年8月)	前年同四半期比	増減率
営業収入	1,081億9千8百万円	1,238億6千6百万円	156億6千7百万円	14.5% 
営業利益	187億9千1百万円	243億3千2百万円	55億4千万円	29.5% 
経常利益	197億3千1百万円	256億1千4百万円	58億8千2百万円	29.8% 
四半期純利益	139億3千5百万円	158億8百万円	18億7千3百万円	13.4% 

【第2四半期の営業概況】

主力の映画事業において、今年の夏興行は近年まれにみる豊作の年となり、東宝配給『バケモノの子』『HERO』『進撃の巨人 ATTACK ON TITAN』をはじめ、東宝東和配給『ジュラシック・ワールド』『ミニオンズ』や他社洋画作品も高稼働。演劇事業では約3か月間のロングランで全席完売となったミュージカル『エリザベート』など話題作が大盛況。また本年4月オープンの「新宿東宝ビル」「TOHOシネマズ新宿」が業績に貢献したことなどから、前年同期比で大幅な増収増益となり、第2四半期決算としては過去最高益を記録。

營業概況 3 力年比較

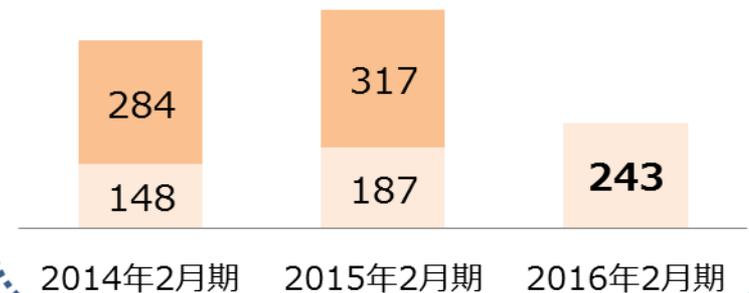
營業收入 (単位：億円)

■ 第2四半期連結累計期間 ■ 期末



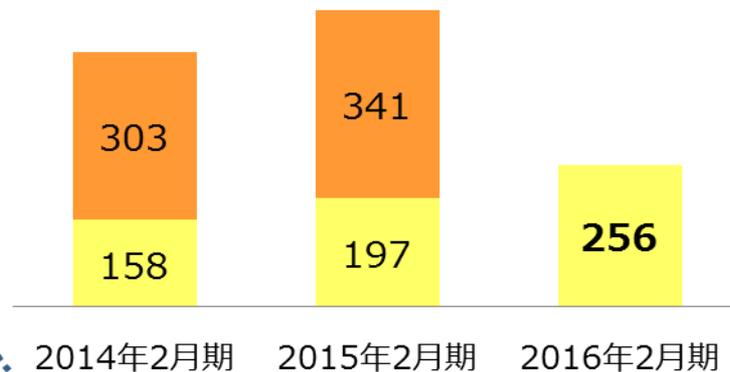
營業利益 (単位：億円)

■ 第2四半期連結累計期間 ■ 期末



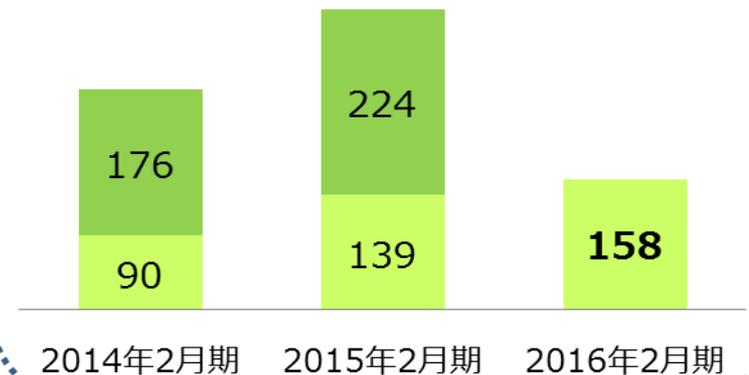
經常利益 (単位：億円)

■ 第2四半期連結累計期間 ■ 期末



当期(四半期)純利益 (単位：億円)

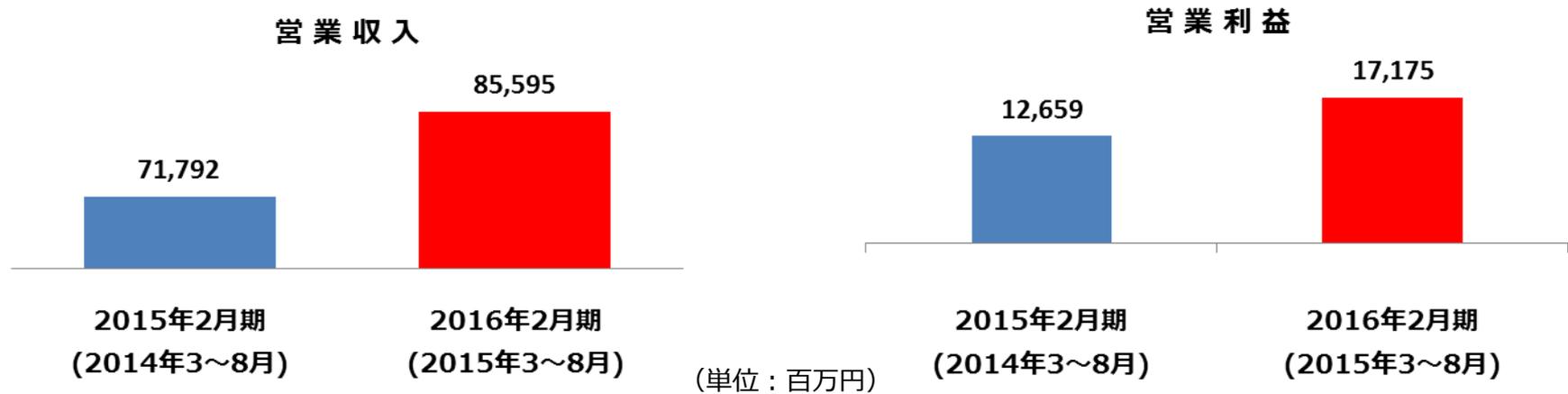
■ 第2四半期連結累計期間 ■ 期末



セグメント別業績一覧

	営業収入 (単位：百万円)			営業利益 (単位：百万円)		
	2015年2月期 (2014年3～8月)	2016年2月期 (2015年3～8月)	増減率(%)	2015年2月期 (2014年3～8月)	2016年2月期 (2015年3～8月)	増減率(%)
①映画事業	71,792	85,595	19.2% ↑	12,659	17,175	35.7% ↑
映画営業	21,068	31,347	48.8% ↑	5,516	8,070	46.3% ↑
映画興行	37,527	40,859	8.9% ↑	5,366	6,515	21.4% ↑
映像事業	13,196	13,388	1.5% ↑	1,776	2,589	45.8% ↑
②演劇事業	5,832	7,078	21.4% ↑	861	1,517	76.2% ↑
③不動産事業	30,083	30,705	2.1% ↑	7,040	7,256	3.1% ↑
不動産賃貸	14,813	16,100	8.7% ↑	5,230	5,762	10.2% ↑
道路事業	10,854	9,740	10.3% ↓	1,399	1,017	27.3% ↓
不動産保守・管理	4,415	4,864	10.2% ↑	411	476	15.9% ↑
④その他事業	491	486	0.8% ↓	40	34	13.8% ↓

セグメント別業績【映画事業】



業績分析（増減要因）

- 夏興行の期待作3作品『バケモノの子』『HERO』『進撃の巨人 ATTACK ON TITAN』をはじめ、『BORUTO-NARUTO THE MOVIE-』『ポケモン・ザ・ムービーXY「光輪（リング）の超魔神 フーパ」』同時上映『ピカチュウとポケモンおんがくたい』など、バラエティに富んだ各作品がヒットしたことにより、映画営業事業は前年同期比で増収増益。
- 東宝東和配給作品『ジュラシック・ワールド』（興行収入88.8億円）『ミニオンズ』（興行収入51.4億円）がともに大ヒットを記録したほか、『アベンジャーズ/エイジ・オブ・ウルトロン』『インサイド・ヘッド』（共にウォルト・ディズニー）『ターミネーター：新起動/ジェニシス』『ミッション：インポッシブル/ローグ・ネイション』（共にパラマウント・ジャパン）などの洋画作品も高稼働し、映画興行事業は前年同期比で増収増益。（興行収入は9月末時点の成績）
- 映像事業ではパッケージ事業において『血界戦線』『TOKYO FANTASY SEKAI NO OWARI』『劇場版 PSYCHO-PASS サイコパス』などのDVD及びBlu-ray販売が堅調に推移し、出版・商品事業では『バケモノの子』などのパンフレット・グッズ販売が作品のヒットに伴い好調な売上を記録。アニメ製作事業では製作出資したTVアニメ『血界戦線』が業績に寄与するなど、映像事業は前年同期比で増収増益。

映画－第2四半期累計 稼働作品－

当社配給作品 興行成績ベスト10

※2015年9月末日時点

作品名	公開月	興行収入
『バケモノの子』	2015年7月	57.4億円
『HERO』	2015年7月	46.0億円
『名探偵コナン <small>ごうか ひまわり</small> 業火の向日葵』	2015年4月	44.7億円
『映画ドラえもん <small>スペースヒーローズ</small> のび太の宇宙英雄記』	2015年3月	39.3億円
『進撃の巨人 ATTACK ON TITAN』	2015年8月	31.7億円
『ビリギャル』	2015年5月	28.3億円
『暗殺教室』	2015年3月	27.7億円
『BORUTO – NARUTO THE MOVIE –』	2015年8月	25.6億円
『ポケモン・ザ・ムービーXY「光輪（リング）の超魔神 フーパ」 同時上映 「ピカチュウとポケモンおんがくたい』	2015年7月	24.4億円
『ストロボ・エッジ』	2015年3月	23.2億円

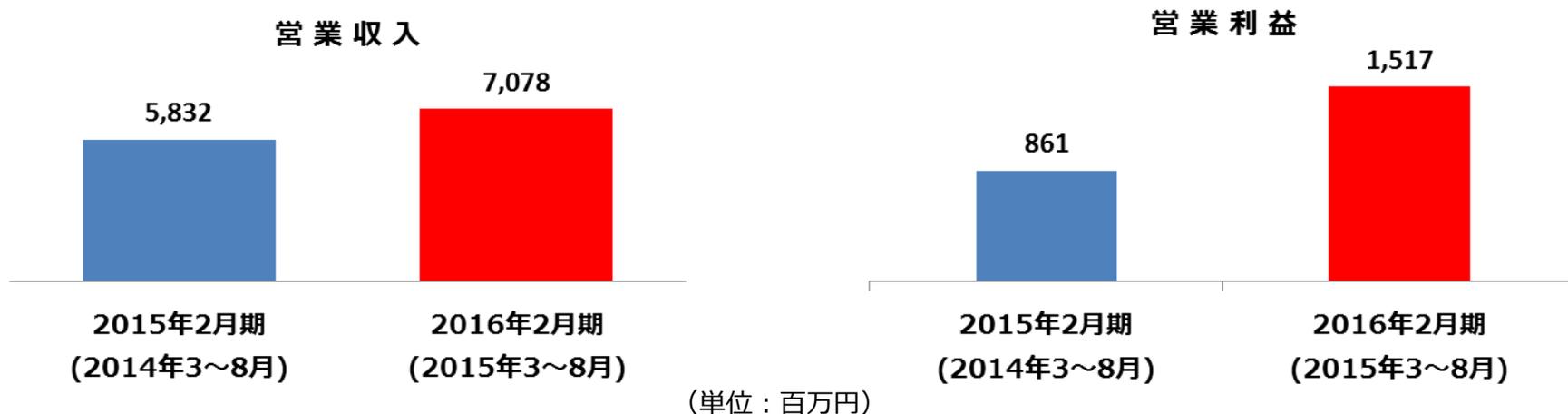


「バケモノの子」
©2015 THE BOY AND THE BEAST FILM PARTNERS



「進撃の巨人 ATTACK ON TITAN」
©2015 映画「進撃の巨人」製作委員会 ©諫山創／講談社

セグメント別業績【演劇事業】



業績分析（増減要因）

- 帝国劇場では、6月から約3か月間のロングランとなったファン待望のミュージカル『エリザベート』が完売公演の大盛況。
- シアタークリエでは、6月に藤山直美主演『おもろい女』、7月はチャップリンの名作映画舞台化『ライムライト』、8月は満員御礼となったミュージカル最新作『貴婦人の訪問 THE VISIT』などバラエティに富んだ作品を提供し盛況。
- 社外公演では『レ・ミゼラブル』『細雪』『台所太平記』などの東宝製作公演が全国各地で展開され収益に貢献。

演劇 - 第2四半期累計 稼働作品 -



帝国劇場公演 ミュージカル『エリザベート』



シアタークリエ公演 『おもしろい女』

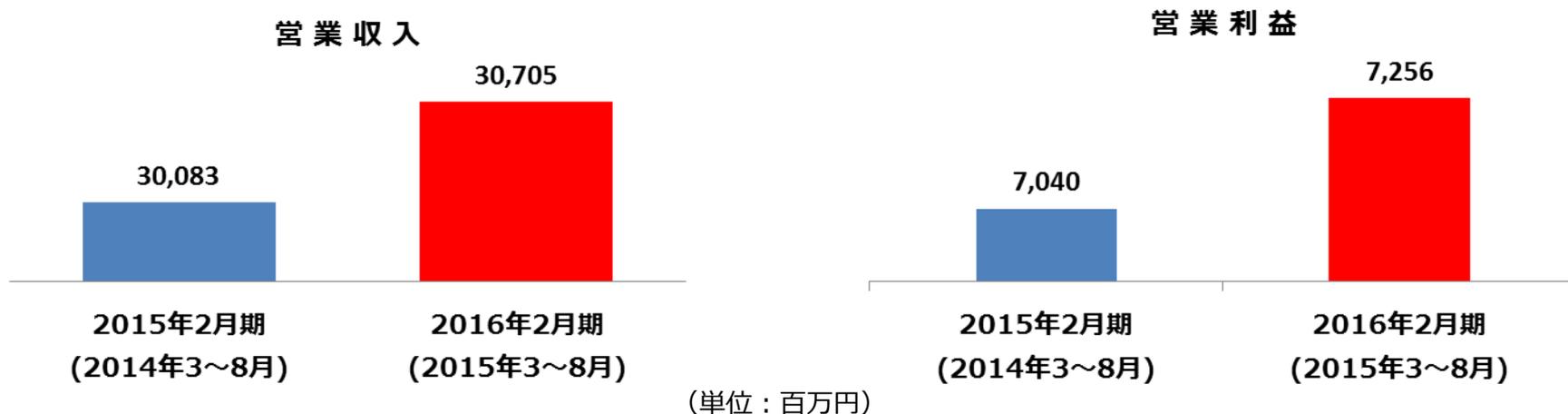


シアタークリエ公演 『ライムライト』



シアタークリエ公演 ミュージカル『貴婦人の訪問 THE VISIT』

セグメント別業績【不動産事業】



業績分析（増減要因）

- 不動産賃貸事業では、「新宿東宝ビル」が2015年4月に開業し、主要テナントの「TOHOシネマズ新宿」が順調に稼働したことで収益に寄与。東宝スタジオでは映画『ギャラクシー街道』などの当社配給作品を中心に撮影が行われたほか、TVドラマ、CM撮影の誘致により順調に稼働。
- 道路事業ではスバル興業(株)が道路の維持・管理、清掃・補修工事の受注等、堅調に推移したものの、前年度に発生した除雪作業の減少や、一部工事の発注や完工時期の後ろ倒しの影響により前年同期比で減収減益。
- 不動産保守・管理事業では(株)東宝サービスセンター、東宝ビル管理(株)において労務費や資材価格の高騰など厳しい経営環境が続く中、新規受注とコスト削減に取り組んだ結果、前年同期比で増収増益。

映画 & 演劇 話題の待機作品



MOVIE LINE UP



2015年10月24日（土）全国東宝系にてロードショー

登場人物全員宇宙人！
三谷流スペースロマンティックコメディの幕が上がる！！
『ギャラクシー街道』

脚本と監督：三谷幸喜
出演：香取慎吾 綾瀬はるか ほか
©2015フジテレビ 東宝



2015年12月5日（土）全国東宝系にてロードショー

激動の第二次世界大戦下、日本政府に背き、“命のヴィザ”を発行し続け
6000人にのぼるユダヤ難民を救った男の真実の物語。
『杉原千畝 スギハラチウネ』

監督：チェリン・グラック
出演：唐沢寿明 小雪 ほか
©2015「杉原千畝 スギハラチウネ」製作委員会



2015年12月19日（土）全国東宝系にてロードショー

待望の第2弾！5つのナゾ！？史上最大の危機！？驚きの新展開！？
ワクワクが止まらない！！今、新たな冒険が始まる！！
『映画 妖怪ウォッチ エンマ大王と5つの物語だニャン！』

© LEVEL-5／映画『妖怪ウォッチ』プロジェクト 2015

STAGE LINE UP



2015年10～11月
シアタークリエ公演

『放浪記』



2015年11月
帝国劇場公演

ミュージカル
『ダンス オブ ヴァンパイア』

2015年11月
シアタークリエ公演
『ブロッケンの妖怪』



2015年12月
シアタークリエ公演

ミュージカル
『ドッグファイト』



業績予想・配当予想

①2016年（平成28年）2月期 連結業績予想

%表示は、通期は対前期、四半期は前年同四半期増減率

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株あたり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	214,000	3.4	35,000	10.2	37,000	8.3	23,000	2.3	124.61

②配当の状況

	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2015年2月期	—	5.00	—	20.00	25.00
2016年2月期	—	12.50	—	—	—
2016年2月期（予想）	—	—	—	12.50	25.00

本資料におけるご注意

本資料の内容には将来に対する見通しが含まれておりますが実際の業績は様々な状況変化や要因により、見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、保証を与えるものではありませんのでご了承ください。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。



東宝株式会社

本資料に関するお問合せ
総務部 広報・IR室
TEL. 03-3591-1303